

ひらやま 四号

* 今月は新聞掲載作品と一学期を振り返つての作文(終業式発表)です。どうぞご覧ください。

「グッピーとベタ」

六年 愛川 晃平

ぼくのクラス6年1組では、グッピーを飼っています。ぼくは生き物でグッピーを育てています。ぼくたち子どもが親に見守つてもらっているように、ぼくたちも同じようにグッピーを見守つています。2週間に1回のペースで、昼休みにグッピーの水そうや石などを一生懸命洗つて、良い環境をつくっています。グッピーもいろいろな種類があり、さいきんではベタという種類の魚を育て始めました。ベタにえさをあげるときは、1日2~3回、その1回のときに、3~5つぶの量をあげます。そしたらバクバクと食べます。そのすがたを見るのを毎回楽しんでいます。グッピーもベタもぼくたち6年1組の一員なので、これからもクラスのみんなで見守つていこうと思います。

「一学きをふりかえつて」

二年 本薗 遥乃



「一学期をふり返つて」

四年 佐藤 あんじ

二つ目にがんばったのは国語のお話をあんしょうすることです。一ぱんむずかしかつたのは、たんぽぽのちえをあんしょうすることです。せつめい文なので長くて、できるようになるのに二しゅうかんいじょうかかりました。できたときに、「やつたあ。」と声を上げました。あきらめそうになつたけどがんばつてよかつたです。三つ目にがんばつたのは日記です。お母さんが、「日記書くのうまいね。」と、なんどもほめてくれたからです。かぎかつこや、ようすをあらわす言葉をくふうしました。これからもがんばりたいです。二学きには、たいいくはつぴようをがんばりたいです。今、ダンスのれんしゅうをしています。ほかにもおとうさんといつしょにかけっこれんしゅうをしています。いつも二ぱんなので今年は一ぱんになります。あきらめずにがんばることを二学きもつづけたいです。



わたしは、一学期の目ひょうを一つあげました。それは、思いやりの行動をとることです。思いやりの行動をとることは、かんたんに思えて、実はとてもむずかしいです。なぜかと言うと、自分が思いやりの行動をしていると思つても、自分以外の人が思つていなかつたら、それは思いやりの行動じやないからです。なので、思いやりの行動をする時は、相手のことを考え行動することが大切なのです。わたしは、友達がこつせつをしている時に、ランドセルに荷物を入れやすいようにしました。すると、友達はえ顔で「ありがとう」と言つてくれました。わたしは、これを思いやりの行動と言うんだと思いました。これからも、思いやりの気持ちを忘れずに、思いやりの行動をしていきたいと思いました。



頭まで水につかつたり、ぎん色のところまで走つたりしました。けれど一ぱんたのしかつたのはどうぶつになりきつておよいだことです。までは力二になりました。体をひくくしていきをはきながらぎんのところまで歩きました。つぎは、力バになりました。目だけ出してと中で力バみたいに口を出して歩きました。つぎは、イルカになりました。イルカのせびれを頭と思ってと中でシユツシユツと出しながらおよきました。水の中はとても気もちよかったです。なれていくうちにけのびも上手になりました。